

令和2年4月1日

敬愛短大附属幼稚園だより 4月号

敬愛幼稚園に入園されました保護者の皆様、お子様のご入園おめでとうございます。

3月には42名の子どもたちが立派に成長して幼稚園を巣立って行きました。3年間この子たちを先生方と見て来ましたが、その間の成長は1年ごとに目を見張るものがありました。その間、出来なかったことがいつの間にか出来るようになっていたり、成長してきた姿を見られる幸せを保護者のような気持ちで見守ることが出来たことはとても幸せな事でした。

本年度入園された子どもたちもきっと敬愛幼稚園で大きく、逞しく成長することが出来ると思っております。そのために職員一同力を合わせて保育に当たって行きたいと思っております。

また、本年度から敬愛幼稚園は敬愛学園と歩調を合わせて新5か年計画と2030年までの長期ビジョンを策定し、以下の3つのプロジェクトをスタートさせます。

①ことばの泉づくりプロジェクト

発達年齢に即した美しい日本語と、自分の考えをお友だちや周囲の人に正しく伝えられるような適切なことばの使い方を学びます。そのために、なお一層絵本の読み語りやクラスでの話し合いの工夫などの具体的な実践を通して進めて参ります。ことばを使って自分の気持ちをお友だちに正しく伝えられなくてケンカになったり、ことばから誤解を生まなくて済むように上手に自己表現ができるようになることを目標としています。

②科学的環境づくりプロジェクト

これまでに整備済の「かがくのかだん」「敬愛こどもミュージアム」「かがくのひみつきち」の科学的環境をどのように保育に活かすかについて研究を深めます。また同時に「敬愛こどもミュージアム」で保護者の皆様にも子どもたちと（年長クラス）楽しい科学の世界を楽しんでいただきたいと思います。運営は年長クラスの子どもたちが行います。この部屋では必ずしも、なぜそうなるのかについてまでの説明を子どもたちには求めていませんので、保護者の方々が科学の苦手な方も子どもたちとの積極的な会話を通じて純粋に科学の不思議さや面白さを楽しんでいただければ幸いです。また、いつでも参加できる年間9回開催の「かがくのかだん」も同様に、高校生でも体験したことのない園長夫婦で行うちょっと変わった科学の楽しさを親子共通の体験として共有出来るように積極的な参加をお願いします。その意味では、子どもたちの教科として小3からスタートする科学への関心を高められるかどうかの鍵は保護者の方々の意識にかかっています。（昨年度は4組のご家庭が年間パーフェクトの参加となりました）

③幼稚園まるごとミュージアムプロジェクト

②の「かがくのかだん」は年長さん中心のプログラムですが、幼稚園全体が科学的環境の整備と活用を進めることで、満3歳～年中さんまでいつでもどこでも意識せずに科学的な事象の体験や興味・関心の向上を図る事が普段の遊びを通して行うことが出来るようになります。

季節感を植物の香りで感ずるプログラムは既に1年前倒しで進行しており、金木犀の花から2か月間をかけて香りを抽出し、各教室でこの香りを噴霧し、子どもたちに先生方がどんな香りを感ずるかを聞いています。「桃の香りだ」など様々な反応がありました。このプログラムについては、2019年度の園だより10月号をホームページからご参照ください。

これら全てのプロジェクトは決して他の幼稚園にはないものと考えており、科学による「子どもたちの遊びはこれまで当園が研究してきた「みつける」「つながる」「かんがえる」の研究成果に基づくものです。子どもたちの成長を促す素材がこれら3つのプロジェクトに含まれており、遊びを通して脳の発達を一層促進させます。幼稚園では、これだけでなく、実に様々なプログラムで子どもたちの健全な発達を促進しており、ご家庭と共に子どもを育てる事を大切に考えております。本年度もどうぞよろしく願いいたします。

（園長 杉山清志）